

議会
市定

一般会計予算総額は97億6千611万円

多久市議会定例会が6月14日から29日までの16日間の会期で開かれ、14の議案等が審議され、可決承認されて閉会しました。

▼平成22年度一般会計補正予算(1号)

補正予算の主な内容は、総務費では、宝くじ収益によるコミュニティ助成事業により、明治佐賀区、栄町区の祭り用具、区内放送設備整備に対する助成、および自治宝くじ助成事業によるふれあいバス3台の購入のための経費です。

民生費では、多久町に計画されている地域共生ステーション整備のための事業費を計上しました。

衛生費では、子宮頸がん予防のためのワクチンの接種費用と、乳幼児に細菌性髄膜炎など重い病状を引き起こすインフルエンザ菌b型(Hib)を予防するヒブワクチン接種の接種費用に対して、助成を行うための経費です。

ワクチン接種助成の内容は、子宮頸がんワクチンの場合は中学1年生・3年生の女子を対象に、1回あたり7,500円(3回接種で2万2千500円)を、ヒブワクチンは生後2月～5歳未満の乳幼児を対象に

1回あたり3,000円(4回接種で1万2千円)を予定しています。

土木費では、空き室となっている「市営池の平住宅」3棟9戸を、周辺環境の維持と防犯のために経費を計上して解体撤去します。

教育費では、県の研究指定事業として、魅力ある学校づくり推進事業、中学校部活において地域スポーツ人材の活用実践支援事業を実施します。

また、スポーツ振興事業として、多久市出身でオリンピック女子駅伝の指導者として活躍されている武富豊氏が監督を務める、天満屋陸上部を招いての陸上教室開催の経費を計上しています。

これらの歳出補正予算の財源は、事業実施にともなう補助金、委託金、諸収入をあて、基金繰入金で調整します。

今回の補正予算により、平成22年度の歳入歳出補正予算の総額は、5千611万円増の97億6千611万円となりました。

多久市副市長に

ふちかみてつや
洲上哲也氏が就任

6月市議会定例会で副市長選任の同意を得て、多久市前総務部長の洲上哲也氏が副市長に就任しました。



洲上哲也 副市長

洲上副市長は、昭和46年に多久市役所に入庁し、市民生活課長や総務課長を歴任。平成20年4月1日から平成22年6月28日まで総務部長を務めました。

就任のあいさつで、「副市長の辞令を拝命し、心機一転、身を引き締まる思いです。各部・各課と連携を図りながら、事務が迅速、適正に行われることを基本に、横尾市長を補佐し、市政方針実現のために職務を執り行っていきたい」と話しました。

洲上副市長の任期は、平成22年6月29日から平成26年6月28日の4年間です。

■問い合わせ

総務課 秘書係 ☎75-2115

平成22年度

市民活動推進事業が

決まりました

市では、市民のみなさんが自主的・主体的にまちづくりに取り組む「協働のまちづくり」の推進を図るため、「多久市市民活動推進事業費補助金」制度を実施しています。

今年度採択した補助事業は次のとおりです。

・**多久のゴミを減らそう会**
EM培養機の購入
(助成額440,000円)

・**メイプルタウン夏まつり実行委員会**
イルミネーション用の蛍光球と延長コード等、音響設備、トランシーバーの購入
(助成額423,000円)

・**社団法人関西吟詩文化協会**
佐賀豊明会
漢詩普及のためのプロジェクト購入
(助成額189,000円)

・**都通りを復活させる会**
都通りのライトアップ設備、案内板、椅子や机等の購入
(助成額700,000円)

・**東の原美化クラブ**
多久聖廟周辺のイルミネーションを延長する機材一式の購入
(助成額188,000円)

■問い合わせ

企画経営係 総務部経営統括室 ☎75-2116